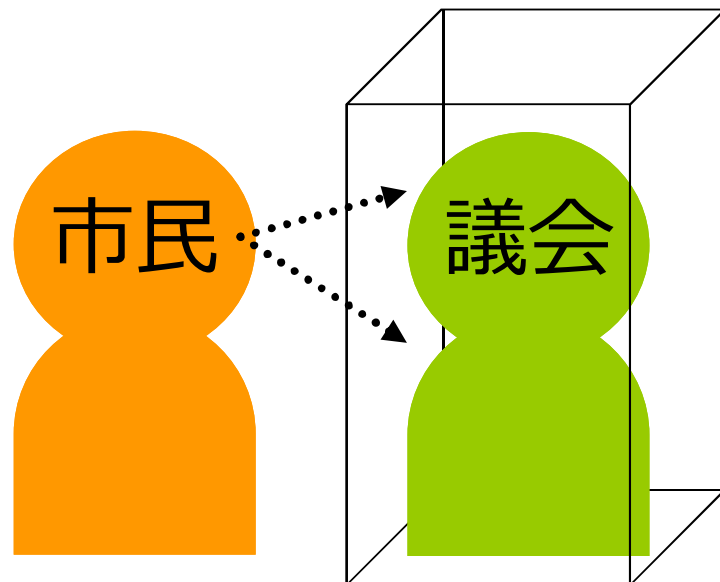


## 平成24年度 議会報告会資料

# 議会改革元年を振り返る



平成24年8月  
大牟田市議会

# 2部構成で説明いたします

## 第1部

- 平成23年度の議会報告会で出された主な意見と議会の対応について

## 第2部

- 平成23年度に全会一致で可決した決議について



# 平成23年度の議会報告会で 出された主な意見と 議会の対応について

# 第1部の構成

昨年の議会報告会において出された意見要望に対する  
議会の対応について説明いたします

- (1) 世界遺産登録推進事業に関する意見・要望
- (2) 光ケーブル回線未設置地域の整備に関する意見・  
要望
- (3) (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業に  
関する意見・要望
- (4) 中学校給食に関するこれまでの経緯
- (5) その他の市当局に対する意見
- (6) 議会への意見と対応

# (1) 世界遺産登録推進事業に関する意見・要望

昨年の議会報告会へ参加された市民の皆さんの主な意見

市民

「市民周知が不十分。経費の使われ方や、それが妥当なのかわからない。」

「登録されれば誇りに思うが、登録の効果は。」

「教育や福祉や安心安全のまちづくりに経費を費やすべき。」



議会

これらの意見を受け、総務委員会において継続的に検討を行いました

# 議会の取り組み

- 平成23年12月7日 総務委員会で論議
- 平成23年12月21日 総務委員会で論議

「**全体像、予算、市民周知**の三点について決議し、行政の対応を求めるべき」という討議結果を取りまとめました

- 平成23年12月26日 各派代表者会に報告
- 平成23年12月26日 全会一致で決議を可決



議会

# 世界遺産登録推進関連事業に関する決議

平成23年12月26日 全会一致で可決

三池炭鉱関連資産の世界遺産への登録については、本市の炭鉱の歴史を後世に伝承していく上でも必要であり、引き続き進めていくべきである。しかし、議会報告会を初めとする市民意見を踏まえると、本事業に対して多くの市民の理解や支持が得られているとまでは認めがたいため、市長におかれては、以下の事項について対応を図られるよう要望する。

1. 本事業の**全体像**については、観光振興面の整備に偏重することがないように、本来の目的・趣旨、将来の維持管理計画、経済効果などのビジョンを取りまとめ、市民・議会へ公表すること。
2. 本事業のための**予算**については、本市の厳しい財政状況や、必要な行政需要が山積していることにかんがみると、最小限に抑えるべきであり、費用対効果を検証して明確にすること。
3. **市民周知**については、1. 及び2. に掲げた全体像と予算についての説明責任を果たすとともに、本事業に対する市民理解が得られ、世界遺産登録への機運が高まるよう努めること。

議会

以上、決議する。

市長

この決議に対しての市長  
の考え方を求めました

# 「世界遺産登録推進関連事業に関する決議」についての市の考え方

市長

## 市長からの回答（要約）

- **全体像について** ⇒ ビジョンとして「**近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン**」を策定中であり、策定後は、議会・市民へ公表し、今後のまちづくりへの理解をいただきたいと考える。
- **予算について** ⇒ 登録に必要な整備は、そもそも近代化産業遺産に係る文化財として、保全・継承していかなければならない必要最小限の経費について、**文化庁をはじめ、国・県等の補助財源を効果的に活用**し、少しでも一般財源の負担がないよう取り組む方針であることは、今後も変わることはない。
- **市民周知について** ⇒ 三池炭鉱の価値や必要性を十分理解されるよう、**更なる広報活動**に取り組んでまいらなければならないと認識しており、本市主催による地区公民館での説明会を全地区公民館で開催することとしている。

議会



# 市長からの回答をもとに、さらに論議

- 24年2月26日 市長から回答を受理
- 24年2月27日 各派代表者会
- 24年3月21日 総務委員会
- 24年5月9日 総務委員会

数値目標などがなく不十分との意見も出された。

↓

今後は、本会議での質問の場などを通じて、回答事項が守られているかをチェックしていくこととしている

議会

## (2) 光ケーブル回線未設置地域の整備に関する意見・要望

昨年の議会報告会へ参加された市民の皆さんの主な意見

市民

「光ケーブルが上内地域では使えない」  
「市内の他の地域と同じ利用ができるように環境を整備してほしい」

議会

地域間での情報格差につながる恐れがあることなどから、総務委員会で論議しました

# 議会の取り組みと行政の対応

23年11月17日 前記に関連して陳情書が提出される  
23年12月7日 総務委員会で陳情審査

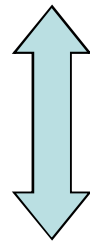


陳情者による意見陳述を受け、  
行政担当部局に実態等を確認し、論議

23年12月定例会 本会議においても複数の議員が質問を行う

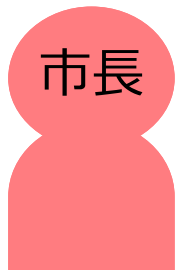
23年12月26日 総務委員会で論議

24年 3月 実態把握のための「地域情報通信基盤調査費」が予算計上



調査実施（平成24年度）

24年度中に今後の方針が示される予定



市長

**その方針を踏まえ、  
議会として論議する予定**

# (3) (仮称) 中心市街地にぎわい交流 施設整備事業に関する意見・要望

昨年の議会報告会へ参加された市民の皆さんの主な意見

市民

「中心市街地以外の地区の整備についても、等しく税金を投入すべき」

「施設整備への市の負担が大きくならないように」

「廃校を利用した子育て施設の整備は考えられないか」

「駐車場の整備など、車社会の現状を踏まえた整備をすべき」

「中心市街地の活性化に向けて頑張ってもらいたい」

「商店街の活性化計画または構想との整合性は」



# 議会の取り組み

- 24年1～2月 市議会の3つの委員会に施設の概要を報告
- 24年2月 全員協議会を開催し、行政当局に意見・要望を出した
- 24年2月の3月定例会の本会議及び予算特別委員会においても、質問や意見・要望が多数述べられた



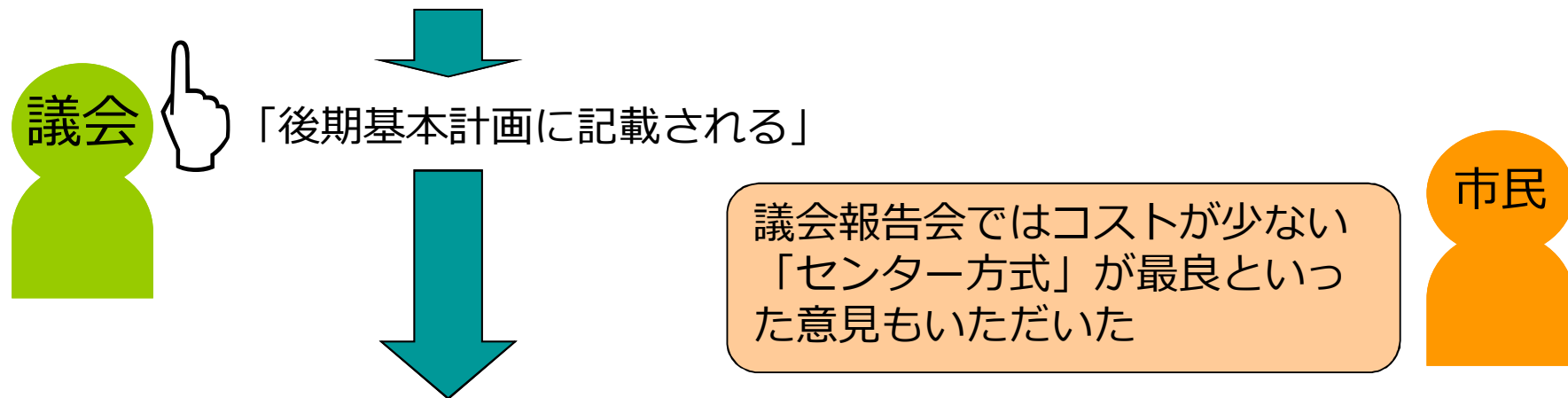
- 駐車場台数を増やすべき**
- 施設のハード面ではなくソフト機能の充実をすべき**
- 高額のコストがかかるので慎重にすべき**
- 新栄町の再開発と一体となった計画とすべき**  
などの意見・要望を伝える

議会

市長

## (4) 中学校給食に関する意見・要望と これまでの経緯 (平成22年度以降)

- これまで、中学校での完全給食は実施されていない
- 平成22年8月18日 「大牟田市総合計画 2006-2015後期基本計画」案の内容について政策等調整委員会で論議し、中学校給食の実施についての意見が出される
- 同年8月20日 上記計画案に中学校給食の実施に向けた検討を図る旨を明記するよう市長へ申し入れ



- 平成24年2月 大牟田市中学校給食基礎調査結果の報告
- 平成24年2月14日 教育厚生委員会において実施方針(下記)の報告
- 平成24年2月16日 大牟田市中学校給食実施方針(案)公表

# 大牟田市中学校給食実施方針（案）の概要①

（要約・抜粋）

## ■基本方針

①完全給食 ②安全でおいしい給食 ③食育の推進 ④効果的・効率的な運営



## ■実施方式

中学校給食基礎調査結果と上記①～④の視点を踏まえ、センター方式（給食センターで調理した給食を各中学校へ配送する方式）が望ましいという方針に至る。

## ■中学校給食センターの建設地

敷地面積、立地条件、建設時期を検討した結果、旧諏訪小学校跡地が最も適しているという結論に至る。

## ■実施時期

平成27年4月

# 大牟田市中学校給食実施方針（案）の概要②

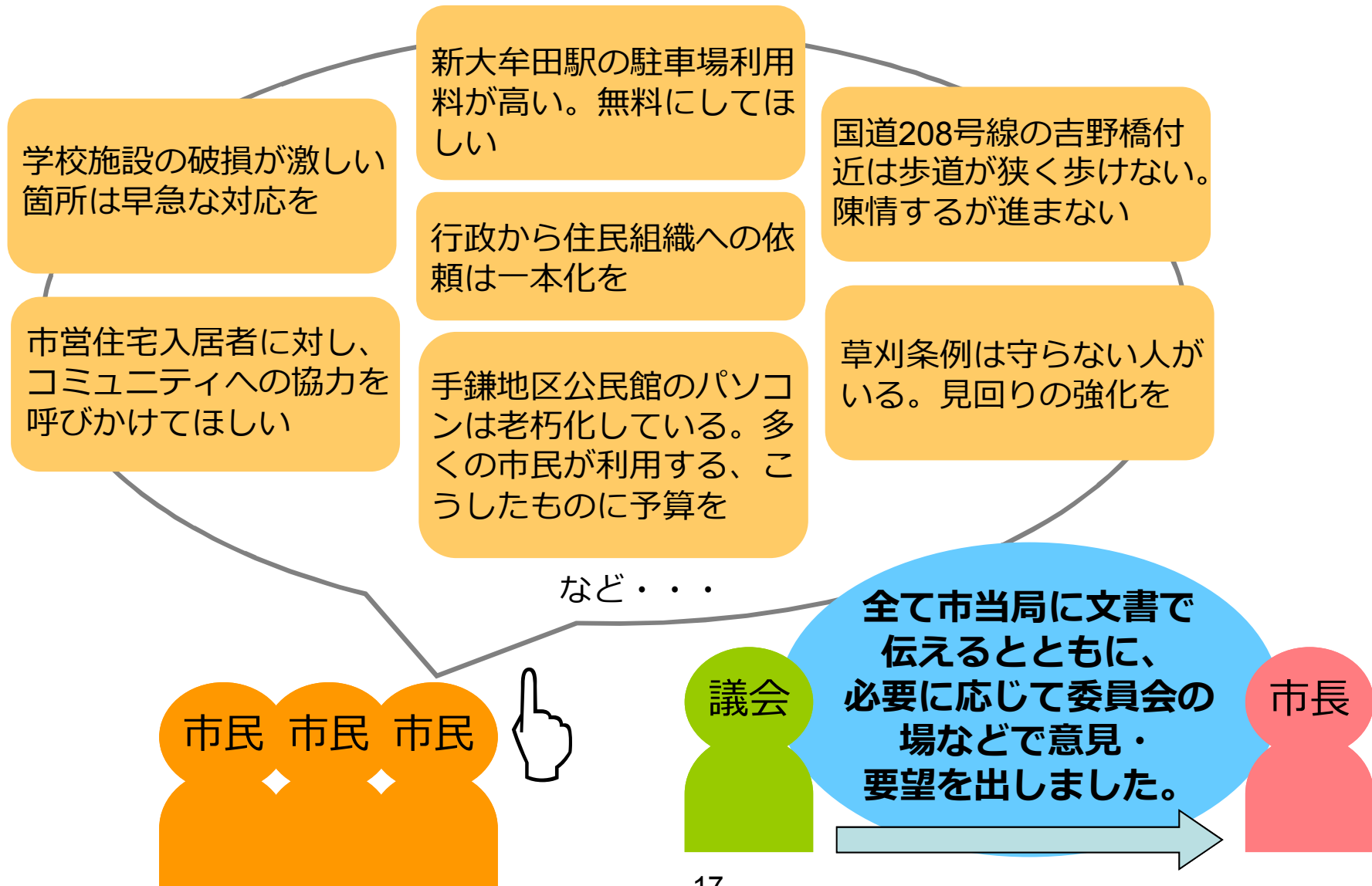
## ■今後のスケジュール

24年度	25年度	26年度	27年度
<p>↔ パブリックコメント（市民意見募集）</p> <p>↔ 中学校給食検討会議（学識経験者、保護者等で構成）</p> <p>↔ 基本構想（センターの規模、事業費など設計に向けた条件整理）</p>			
	<p>← 基本設計・実施設計</p> <p>↔ 建築審査会等（建設のための法定手続き）</p> <p>↔ 総合評価等入札手続</p>		
		<p>← 建設工事</p> <p>↔ 厨房機器設置工事</p> <p>↔ 試運転</p>	
		給食開始	→

議会も今後の事業の進め方を注視して、よりよい給食実施ができるよう努めます



# (5) その他の市当局に対する意見 (抜粋)



# (6) 議会への意見と対応①

視察に対して出された意見

市議会の認識と取り組み

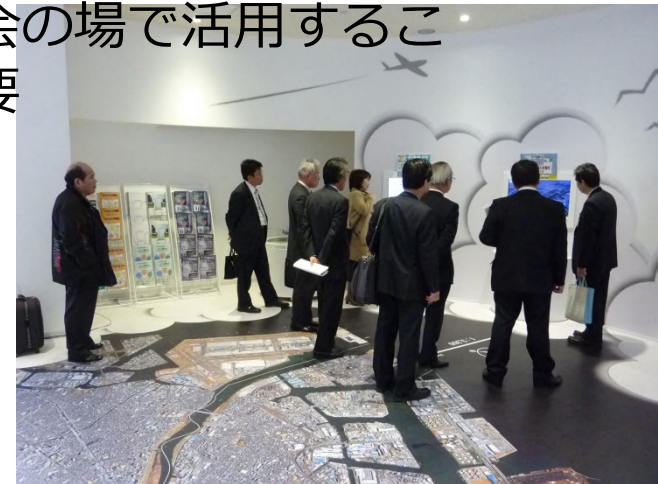


視察に行く予算があるのなら市民要望に応える使途に

遠方ばかり行っている。近場の良い事例を探し経費削減を



- 視察先の選定理由を明確に
- 視察内容は議員間で共有化
- 視察報告をホームページで公開
- 視察で学んだことを本会議や委員会の場で活用することが重要



# 議会への意見と対応①（つづき）

## 平成23年度 常任委員会及び会派視察の実績（■は市政調査研究費による視察）

委員会等名	視察先（視察項目）
総務委員会 (9人)	●山口県宇部市（地域コミュニティ）、●広島県呉市（ジェネリック医薬品使用促進通知サービス）、●岡山県倉敷市（市民満足度向上運動）
教育厚生委員会 (8人)	●香川県高松市（小中一貫教育、病児・病後児保育）、●愛媛県新居浜市（障がいや発達課題のある子どもへの一貫した支援体制）
都市環境経済委員会 (9人)	●東京都江東区（豊洲グリーン・エコアイランド構想）、●神奈川県川崎市（新エネルギー推進事業）、●東京都立川市（資源エネルギー施策）
自由民主党議員団 (9人)	●群馬県太田市（行政改革）、●栃木県小山市（小規模特認校）、●世界遺産における稼動資産（文部科学省文化庁）、■宮城県気仙沼市（震災がれき実態調査）
公明党議員団 (5人)	●大阪府門真市（財政健全化計画）、●滋賀県草津市（愛する地球のために約束する草津市条例）、●奈良県橿原市（かしはら元気応援プロジェクト）
社民・民主・ 護憲クラブ (5人)	●東京都板橋区（減災のための地域づくり、自校方式学校給食）、●東京都墨田区（防災対策としての雨水利用、高齢者福祉）、●埼玉県行田市（児童・高齢者及び障害者虐待防止、男女協同参加推進、センター方式学校給食）
おおむた・市民党 (3人)	●東京都西東京市（中学校完全給食）、●埼玉県久喜市（コミュニティ推進協議会）
日本共産党議員団 (3人)	●千葉県成田市（コミュニティバス）、●千葉県野田市（公契約条例）、●千葉県佐倉市（中学校給食）●大分県豊後高田市（学びの21世紀塾、子育て支援コーディネーター事業、子育て応援団「おひさまひろば」）

# 議会への意見と対応②

議会報告会に対して出された意見

対応



市民

10月は行事が多く忙しい。開催時期の検討を



今回より  
8月に実施

参加者が少ない。多くの人参加しやすい工夫とともにPRを



地域の大きな行事と重ならないよう調整した。  
また議員の口コミによるさらなる周知を行う

時間が足りない。意見交換の時間を増やせば建設的な意見も出るのでは



意見が多数出る場合は時間を延長したい



議会

# 議会への意見と対応③

本会議の運営に対して出された意見

対応と考え方



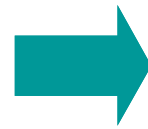
市民

休日開催や夜間開催を  
検討すべき



インターネットで本会議の生中継  
と録画中継を行っていることもあり、  
当面は現在のやり方を継続す  
ることとし、今後の市民の皆さん  
の意向などを見極めていきたい。

代表質問の時間が45分  
というのは短い



全体として一定の評価もあるため、  
今のところ、現在のやり方を継続  
したいと考えている。



議会

議会の広報啓発に対して出された意見

市議会だよりは視覚障  
害者にも内容がわかる  
ように音訳などできな  
いか



平成24年5月1日号から音訳  
版と点訳版を作成すること  
なった。

# 議会への意見と対応④

## 市議会だより改善の取り組み

### 平成23年8月～

- 議会報編集委員会主体による企画・編集により紙面をリニューアル。
- 縦書きを横書きとし、白黒を二色に。
- 特集記事、連載記事、委員会レポート、トピックス記事等、議会活動全般を伝える構成に。
- 11月に議会広報研修を受講（3名）

### 平成24年5月～

- 表紙、最終面をカラー化。
- 関係団体のご協力をいただき、音訳、点訳版の作成。





# 平成23年度に全会一致で 可決した決議について

## 第2部の構成

平成23年度に可決した決議について紹介します

### (1) 決議第1号

**世界遺産登録推進事業に関する決議**

### (2) 決議第2号

**市民負担の軽減・対策を求める決議**

### (3) 決議第3号

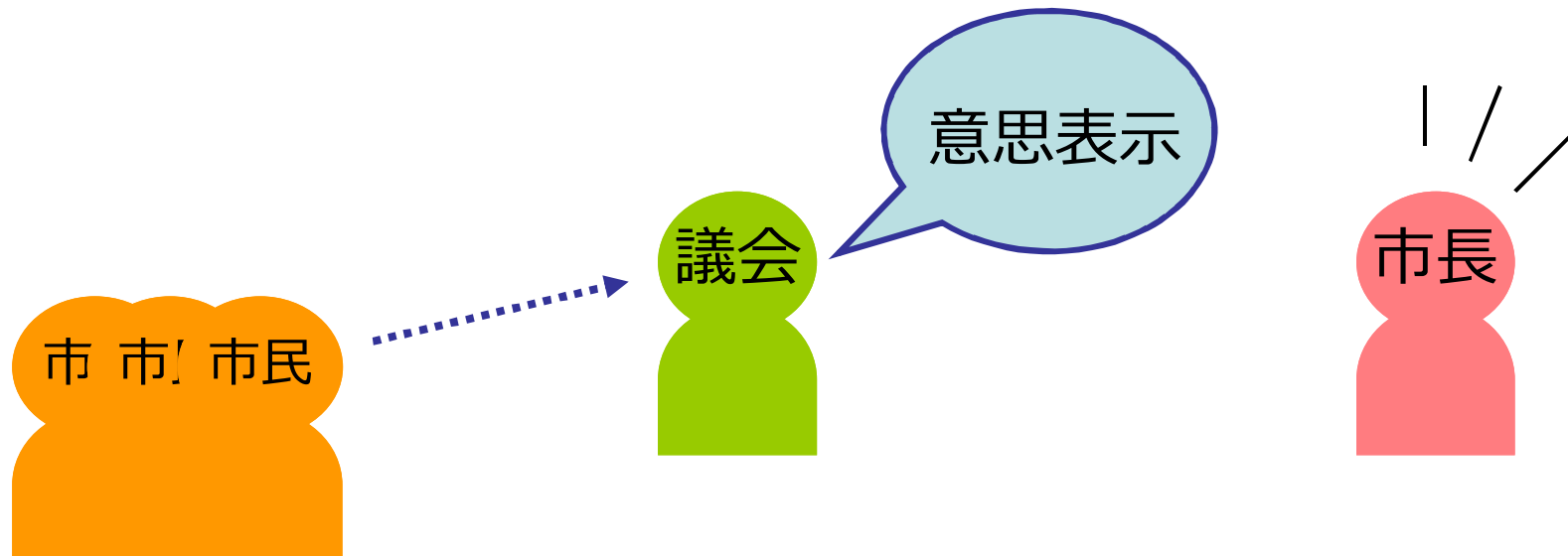
**東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議**



# 決議とは

議会として意思表示を行うことで、政治的な効果を狙うもの。

本市議会においては、平成23年度は3つの決議案を全会一致で可決しました。



# 議会での決議①

23年12月26日 全会一致で可決



## 決議第1号

「世界遺産登録推進関連事業に関する決議」 (再掲)

内容

本市の炭鉱の歴史を後世に伝承していく上でも世界遺産登録については推進すべきであるが、市民理解が得られているとは認め難いため、以下の対応を要望する。

1. 事業の全体像を取りまとめ、市民・議会に報告すること
2. 事業の予算は最小限に抑えること
3. 市民周知は事業に対する市民理解と機運が高められるよう行うこと

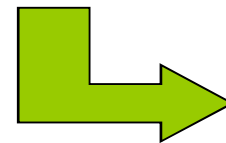
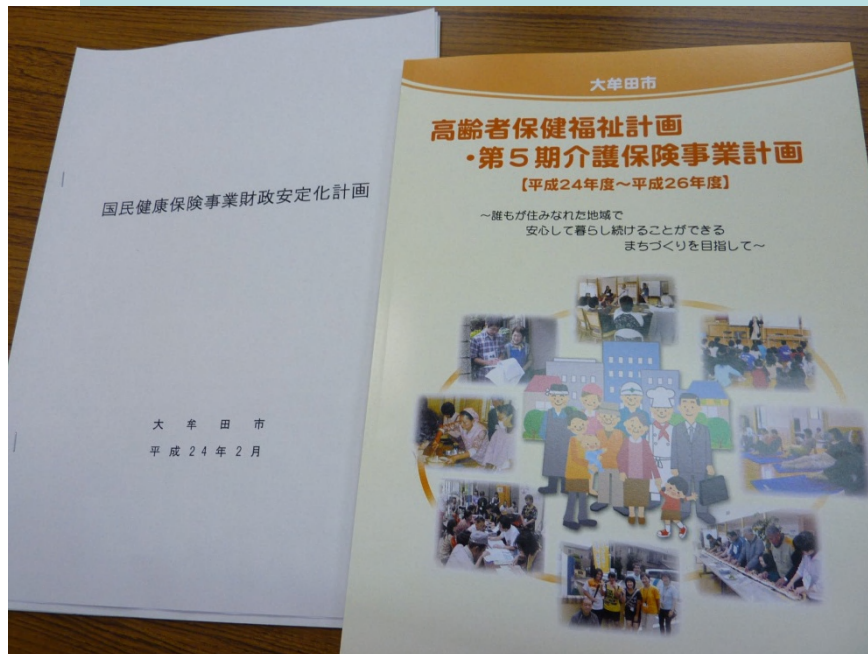
# 議会での決議②

24年3月19日

全会一致で可決

## 決議第2号

### 「市民負担の軽減・対策を求める決議」



決議の背景・・・

(決議第2号 つづき)

## ■ 決議の背景

- 国民健康保険税と介護保険料の改定が提案され、国民健康保険税は6.05%、介護保険料は40.87%の引き上げが行われる。

## ■ 市議会の対応

- 現行の制度では市の裁量での運営が限界にきているため、制度改正と国庫負担の増額を求めるべきだという認識を持つ。
- 「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書案」「介護保険制度の長期的かつ安定的な運営のための抜本的改正を強く求める意見書案」を全会一致で可決。
- 3度の政策等調整委員会での論議を行い、市から国に改善を求めることなどを旨とする決議案を提出するに至る。

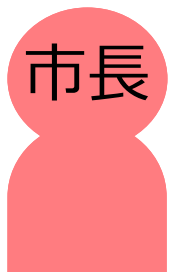


議会

(決議第2号 つづき)

## ■ 決議の抜粋

- 国民健康保険制度と介護保険制度の抜本的改正について、政府に対し強く求められたい。特に、国庫支出金の負担割合を増額されるよう、政府に対し強く求められたい。
- 健康増進並びに介護予防については、推進担当組織体制の構築を含め、全庁の総力を挙げて取り組まれたい。
- 低所得者などに対する独自減免については、特段の配慮をされたい。



# 議会での決議③

24年3月19日 全会一致で可決



## 決議第3号

**「東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する  
課題の研究・検討の努力を求める決議」**

内容

被災地の一日も早い復旧を願い、本市に対し、国の責任による安全性の確保や情報公開、通常の廃棄物と判断されるものに限った受け入れ、市民の合意形成を前提とするなど、災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を行うよう要請する。（抜粋）

(決議第3号 つづき)

## ■ 決議に至る背景

- 東日本大震災の津波被害で発生した災害廃棄物の量は岩手県が11年分、宮城県が19年分と言われる。
- 放射能を帯びた一部の廃棄物の処分・管理についての見通しがないことが住民不安を高めている。
- 災害廃棄物の処理は、全国で協力して処理することが求められる。

## ■ 市議会の対応

- 上記の事実と認識を踏まえ、各派代表者会と請願等調整委員会にて論議を行い、決議案を提出するに至った。

## ■ 決議後の動き

- 市内外からの問い合わせや抗議（165件）（7/26現在）
- 自由民主党議員団が気仙沼市を視察（3月）
- 市長が気仙沼市を視察（4月）
- 6月定例会でも質問。引き続き検討と課題整理に努める。



# おわり

ご清聴ありがとうございました。  
皆様のご意見をお聞かせください。